

02 / 19
THU

2026

05 / 24
SUN

小林清親
から

トワイライト、

川瀬巴水
まで

新版画

From Kiyochika to Hasui:

Ukiyo-e and Shin-Hanga Woodblock Prints

from the Smithsonian's National Museum of Asian Art

三菱一号館美術館

NATIONAL
MUSEUM of
ASIAN ART

Smithsonian



MITSUBISHI
ICHIGOKAN
MUSEUM,
TOKYO

U K I Y O E

その光だけは、色褪せなかった。

最後の浮世絵師のひとりと呼ばれる小林清親が 1876（明治 9）年に開始した『東京名所図』は、明治期の風景版画へ大きな変革をもたらしました。黄昏どきの表情や闇にきらめく光の様相を描いた作品群は「光線画」と呼ばれ、深い陰影により江戸の情緒まで捉えています。このような視点は、失われゆく江戸の面影を惜しむ人々の感傷や、それらを記録しようとする写真の意欲とも重なっており、同時代の浮世絵師たちが文明開化により変貌していく都市を、鮮やかな色彩によって楽天的に捉えた開化絵とは一線を画するものでした。明治末期に浮世絵の復興を目指した新版画は、その技術ばかりでなく清親らが画面に留めようとした情趣を引き継いで、新しい日本の風景を発見していきました。清親から吉田博・川瀬巴水らに至る風景版画の流れを、スミソニアン国立アジア美術館のミューラー・コレクションによって辿ります。



1. 川瀬巴水 東京十二題 五月雨ふる山王 1919(大正 8)年 2. 川瀬巴水 東京十二題 本場の夕暮 1920(大正 9)年 3. 小林清親 東京新大橋雨申図 1876(明治 9)年
4. 小林清親 海運橋(第一銀行雪中) 1876(明治 9)年 5. 吉田博 日本アルプス十二題 穂高山 1921(大正 10)年 すべてスミソニアン国立アジア美術館

© National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Robert O. Muller Collection

トワイライト、新版画 —小林清親から川瀬巴水まで

From Kiyochika to Hasui:
Ukiyo-e and Shin-Hanga Woodblock Prints from
the Smithsonian's National Museum of Asian Art

会 期：2026 年 2 月 19 日（木）～5 月 24 日（日）
開館時間：10 時～18 時〔祝日除く金曜日と会期最終週平日、第 2 水曜日は 20 時まで〕
※ 入館は閉館時間の 30 分前まで
休 館 日：祝日・振休を除く月曜日
但し、開館記念日の 4/6、トークフリーデー〔2/23、3/30、4/27〕、5/18 は開館

観覧料	一般：2,300 円 大学生 1,300 円 高校生 1,000 円 ※価格はすべて税込 ※障害者手帳をお持ちの方は半額、付添の方 1 名まで無料
オンライン販売	< 前売り > 通常前売券：一般：2,100 円 大学生：1,000 円 期限付き平日限定チケット：1,900 円(利用可能日 2/19(木)～3/31(火)の平日、数量限定) 特別デザインチケット：2,900 円 (数量限定) トワイライト、通行手形：5,000 円(会期中何度でもご入場可能、数量限定) 展覧会が楽しみになる「トワイライト、わくわくセット」価格未定 (Store 1894 オンラインサイトにて販売、数量限定)
チケット窓口	毎月第 2 水曜日「マジックアワーチケット」：1,600 円 ※当日の 17 時以降に販売 ※他の割引との併用不可

併せて、同時期に開催される小企画展もご覧になれます。詳細は、<https://mimt.jp/small-gallery/> をご確認ください。

トワイライトカラーコーデ割 夕焼けオレンジ／黄昏パープル
オレンジかパープルを取り入れた服装でお越しになると観覧料が 100 円引きに。
さらに、オレンジとパープルのコーディネートで お越しになると、200 円割引になります。
チケット窓口にて、「カラーコーデ割引お願いします」とお声がけください。
※チケット窓口での購入のみ適用 ※他の割引との併用不可

三菱一号館美術館
MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM, TOKYO

Kobayashi Kiyochika is known as one of the last ukiyo-e artists, and the series *Famous Places of Tokyo* that he began in 1876 revolutionized landscape prints in the Meiji era (1868–1912). Referred to as kosen-ga or “light-ray pictures,” his works depicting twilight countenances and aspects of light gleaming in the darkness capture the atmosphere of Edo (now Tokyo) through deep shadows. His perspective echoes the sentimentality of those who lamented the vanishing customs of Edo, as well as the motivation behind photographs that sought to record such customs. This represented a departure from the kaika-e or “enlightenment prints” by other ukiyo-e artists from the same era, who optimistically depicted the city transformed by Westernization in colors. At the end of the Meiji era, the shin-hanga or “new woodblock print” movement aimed to revitalize ukiyo-e by carrying on not only its techniques but also the sentiments that Kiyochika and other artists strove to capture in their work, while at the same time seeking out scenes of the new Japan. This exhibition explores trends in landscape prints from Kiyochika to Yoshida Hiroshi, Kawase Hasui, and others through works from the Robert O. Muller Collection at the Smithsonian's National Museum of Asian Art in the United States.

見どころ
1

アメリカ建国 250 周年記念の年に、
スミソニアン国立アジア美術館の
コレクションが里帰り

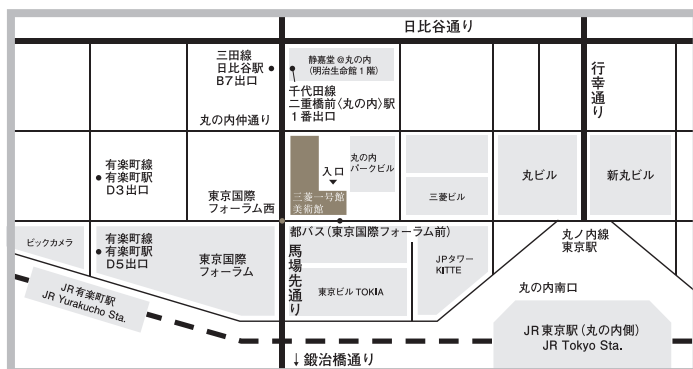
見どころ
2

明治の視覚を変革した写真と、
伝統的な浮世絵との関わり

見どころ
3

「最後の浮世絵師」小林清親がみせた
浮世絵最後の輝きとその継承

最新情報は
当館サイト
にて



アクセス

・JR「東京」駅(丸の内線) 徒歩 5 分・JR「有楽町」駅(国際フォーラム口) 徒歩 6 分・東京メトロ千代田線「二重橋前(丸の内)」駅(1 番出口) 徒歩 3 分・東京メトロ有楽町線「有楽町」駅(D3/D5 出口) 徒歩 6 分・都営三田線「日比谷」駅(B7 出口) 徒歩 3 分・東京メトロ丸の内線「東京」駅(地下道直結) 徒歩 6 分

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-6-2 お問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

主催：三菱一号館美術館、スミソニアン国立アジア美術館、朝日新聞社

後援：米国大使館 協賛：DNP 大日本印刷 協力：全日本空輸

表紙：川瀬巴水 東京十二題 本場の夕暮(部分) 1920(大正 9)年 スミソニアン国立アジア美術館

© National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Robert O. Muller Collection

人を、想う力。街を、想う力。三菱地所